

事例 23 浜松市における公益的機能維持増進協定に基づく森林整備 （関東森林管理局 天竜森林管理署）



- 静岡県浜松市（はまつし）
- 施業後の林内の様子
（令和5年1月）

天竜森林管理署管内の国有林に囲まれた民有林において、間伐の遅れから林内が暗くなり、下層植生の衰退による公益的機能の低下が懸念されていました。

そのため、関東森林管理局では、山地災害の防止や水源の涵

養等の森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、平成30年度に民有林所有者と公益的機能維持増進協定を締結し、間伐を実施しました。間伐を実施したことにより、林内の光環境が改善され、令和4年度の林内巡視では、草本類が生育していることと、表土の流出や侵食が見られないことを確認しています。